



2022年6月30日

カトリックさいたま教区 司教

マリオ 山野内 倫昭

## 新型コロナウイルスに関する教区の対応について（第23次）

新型コロナウイルスの現況を踏まえ、また、去る6月20日に行いました司祭・助祭の集いでお聞きした諸々のご要望を踏まえ、さいたま教区としては、対応を下記の通り緩和することといたします。

1. 主日のミサ（含む・前晩のミサ）の公開について  
これまで通りとします。  
また、ミサは、これまで通り、「日本語のミサ」、または、「日本語を基本とし、共同祈願や朗読の一部を外国語で行うもの」のみ許可します。  
なお、外国語ミサの再開については近々「対応第24次」でお知らせします。
2. ミサのグループ分けについて  
グループ分けの数を維持するか減らすかの判断は、小教区ごとに条件が異なるため、それぞれの小教区の判断に委ねます。主任司祭と教会委員会等で慎重にご検討ください。
3. 歌唱（讃歌、答唱、主の祈り等も含む）について  
マスクは着用のこと。独唱だけとするか、聖歌隊だけにするか、全員で小さな声で歌うかなど、それぞれの小教区の判断に委ねます。
4. 聖体拝領について  
これまで通り、マスク着用、手洗いの仕方、口での拝領は行わないことなど変更はありません。
5. 侍者などの祭壇奉仕について  
感染防止についての基本の注意事項（マスク着用、手指消毒など）を守って行ってください。
6. 会議や講座などの人数制限について  
マスク着用、三密を避けるなど感染防止に注意の上で小教区の判断に委ねます。  
また、ミサ後等の多人数で飲食を伴うパーティー等は、当面、禁止とします。